

新潟コミュニティ FM10 局震災復興キャンペーン『明日につながるメッセージ』

① 「きずな伝言板 柏崎 A」 60 秒

0:00	タイトルコール	「きずな伝言板 —新潟・柏崎からふるさと東北へ」
0:08	本編	女 「おおたりかと言います。南相馬市から避難してまいりました。まだ子供も小学生と小さいので、早く帰りたいという気持ちでいっぱいです。福島にいる皆さんも、避難してきた私たちも気持ちは同じだと思うので、前向きにがんばっていきましょう」 男 「やまだせいこう。双葉郡大熊町から。はやぐ元のね、大熊町に戻りたいっていうのがいちばん。お互いにやっぱりね、こういうあれだから、がんばっていきましょうということが、あれだね、それだけだな、言うのはな」
0:50	エンドコール 協賛スポンサー名	新潟コミュニティ FM10 局は、東北の絆をつなぎます。 (〇〇も協賛しています。)
1:00		

② 「きずな伝言板 燕三条 C」 60 秒

0:00	タイトルコール	「きずな伝言板 —新潟・燕三条からふるさと東北へ」
0:08	本編	「私は南相馬市小高区のたかのあきらです。新潟県三条市の総合福祉センターにお世話になってるものでございます。皆様も私も元気で帰れることを願ってがんばるつもりでございます。皆様方もどうぞそれを期待してがんばりましょう」 「福島県南相馬市から新潟県三条のほうに来ています。避難所の皆さんと一緒に生活している地元で開業していた医師です。なかなかつらいことが多いですけども、地元で早く帰れるようにみんなで力を合わせてがんばっていきましょう」
0:50	エンドコール 協賛スポンサー名	新潟コミュニティ FM10 局は、東北の絆をつなぎます。 (〇〇も協賛しています。)
1:00		

③「未来へのたすき 雪国 A」 60 秒

0 : 00	タイトルコール	「未来へのたすき — 中越地震」
0 : 03	本編：男 女 男 ナレーター	「あの地震のおっかなさは忘れらんねて。3 回も“どしんどしん”と揺れたねかて」 「そのあとも震度 5 ってんががいつべきたろ。飛び出して避難したつきり、持ち出し袋も取りに行がれんかったて」 「そういえば、おらしよの持ち出し袋、どこにしまったがかや」 携帯ラジオや懐中電灯を入れておく「非常持ち出し袋」。いざというとき、持ち出せなければ意味がありません。すぐに持っていける玄関の周りや車庫の道路側などに置きましょう。2 つ準備して、ひとつは車の中に入れておけば安心ですね。「非常持ち出し袋」は、置き場所が大事です。
0 : 45	エンドコール 協賛スポンサー名	新潟コミュニティ FM10 局は、災害の教訓を語り継ぎます。 (〇〇も協賛しています。)
1 : 00		

④「未来へのたすき 長岡 A」 60 秒

0 : 00	タイトルコール	「未来へのたすき — 中越地震」
0 : 03	本編：男性アナウンサー ナレーター(女) ナレーター(男)	「工場は大きな被害を受けています。明日は、従業員は出社せずにご家族といてください…」 「学生と連絡が取れません。これから名前を呼びます。名前を呼びますので、すぐに大学に連絡をしてください…」 「信越本線の東側で、国道よりも北側のエリアから、順次通電を開始します…」 リスナーがみんな被災者になる。だからできる放送がある。人を助ける“電波”でありたい。人をつなぐ“電波”でありたい。 いざ、というときのために、携帯ラジオを一家に一台備えておきましょう。
0 : 45	エンドコール 協賛スポンサー名	新潟コミュニティ FM10 局は、災害の教訓を語り継ぎます。 (〇〇も協賛しています。)
1 : 00		